

新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

第十六話

「新冠会所の建物について」（要約文）

判官館裏の海岸を、古老の人達は「会所前」と呼ぶことがあります。会所とはどのような建物だったのでしょうか。かつて「新冠会所と墓石」と題して記したことがありましたが、今回は新冠会所の建物そのものについてその一部を紹介します。

会所という名称は、江戸幕府が寛政11年に東蝦夷地を直轄した時に運上屋から変更されたものです。運上屋は、各場所の中心地に設置した交易所でしたが、次第にアイヌの人々と和人も雇用して大規模な漁業を営む場所として繁栄していきました。東蝦夷地各場所様子大概書（文化6年）では、

一、会所 壹ヶ所（上座敷一間、次間式間、帳場井支配人、番人部屋、台所、板敷外土間也）

一、会所より鍵出し壹ヶ所（上座敷壹間、次間式間、土縁有）支配人壹人、番人六人

一、会所附（渡船三艘、漁船二艘）

一、弁天社 壹ヶ所 一、掘井 壹ヶ所

一、板蔵 壹ヶ所 一、旅宿 壹ヶ所

一、物置小屋 壹ヶ所 一、厩 壹ヶ所

一、野菜畑 壹ヶ所

このように記されています。会所は桁30

メートル、梁12メートルの巨大な木造で屋根は茅ぶきであり、その後幕末に柵ぶきにしていたようです。内部には座敷、帳場、番人部屋があり、台所、板敷外土間がありました。明治以降は本陣、旅籠屋、駅通として使用されましたが、明治32年に解体され、建物は残っていません。



新冠会所の建物に使用されていた材
（郷土資料館に展示しています）



新冠会所の図（『東蝦夷地より国後へ陸中道中絵図』市立函館図書館蔵より）

災害に備えて 避難場所や避難経路を 確認しておきましょう！

消防署新冠支署

火災・救急出動状況			（ ） かつこ内は前年同期
区 分	火災件数	救急件数	
8 月	0 件（0 件）	26 件（ 27 件）	
元年 1～8 月	3 件（0 件）	216 件（198 件）	
交 通 事 故 発 生 状 況			（ ） かつこ内は前年同期
区 分	発生件数	死 者	傷 者
8 月	1 件（0 件）	0 人（0 人）	1 人（0 人）
元年 1～8 月	4 件（4 件）	0 人（0 人）	4 人（5 人）

人の うごき

（令和元年8月末現在）

人 口	5,520 人	（前月比	0 人）
男	2,711 人	（前月比	+ 5 人）
女	2,809 人	（前月比	- 5 人）
世 帯	2,780 世帯	（前月比	10 世帯）